

音楽科

重点目標 表現活動において主体的に学習に取り組み、豊かな感性を育成する。

	学習指導に関する現状と課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	検証（成果と課題）
第1学年	<p>◎表現領域において何ができるようになるか、という視点から</p> <p>表現学習において、合唱・歌唱などについて意欲的に取り組む生徒が多い。学校全体の特徴とも言える。その長所をさらに伸ばし良い曲に仕上げるために、リーダーの育成や生徒同士の話し合い活動などを増やしてより主体的に取り組ませ、歌唱表現を創意工夫することができるようにすることをねらいとする。</p> <p>◎習熟の程度に合わせる視点から</p> <p>和楽器については、小学校により差はあるが、箏の授業には興味をもって取り組む生徒がほとんどである。さらに、美しい音色をめざした奏法が身につくとよい。</p> <p>◎生徒の授業アンケートの結果の視点から</p> <p>自分の歌唱の力を知りたい、という意見がある。</p>	<p>歌唱活動に意欲的、主体的に取り組み、良い合唱曲に仕上げるために、リーダーを中心としたグループ学習に取り組み、互いに創意工夫をする。また、自分の属するパートだけでなく、他の様子も知ることで、さらに全体としての向上につなげたい。</p> <p>特に合唱の授業では、毎時間、個人の目標を立て自己評価をし、次へつなげるようにする。</p> <p>ペア学習を行うことで、互いに聞き合い、また音色について感想を交換し、美しい音色をめざす。また、鑑賞の授業を通して、本物を知る。</p> <p>実技テストはもちろんのこと、チャンスがあるごとにアドヴァイスをしていく。</p>	<p>合唱コンクールの楽曲学習、指揮の勉強、基礎学習を通して、表現力が伸び、意欲、理解力ともに大きく伸びている。互いを聴き合うということから、鑑賞にも主体的に取り組んでいる。</p> <p>自己評価をして、教員とやりとりをしながら、さらに主体的に自分を高めようとする目標が出来ると良い。</p> <p>習熟度に合わせて、ペアを替えて、取り組む楽曲の幅を広げる。</p> <p>生徒個人からの要望があれば、昼休み等の時間に歌唱レッスンをする。また、有志合唱団への参加を呼びかけ、発展学習へとつなげる。</p>	

